

会 議 録

会 議 名	2025 年度第 2 回東浦町子ども読書活動推進会議	
開 催 日 時	2026 年 3 月 25 日 (水) 午後 3 時から午後 4 時 20 分まで	
開 催 場 所	東浦町中央図書館 2 階 大会議室	
出 席 者	委員等	浅井真司氏 (委員長)、奥田英子氏 (副委員長)、坂野優貴氏、 畔上美千代氏、水野彩香氏、鷹見みゆき氏、松下玲子氏、尾方 悦子氏
	事務局	原田ふくし文化部長、関学び支援課長、植田生涯学習係長、 長谷川主事 (株)図書館流通センター 大西図書館長、平松チーフ
議 題 (公開又は非公開の別)	1 2025 年度「東浦町子ども読書活動推進計画 (第 4 次)」に係る実績書 について (公開) 2 2025 年度「東浦町子ども読書活動推進計画 (第 4 次)」に関するアン ケート結果について (公開) 3 その他 (公開)	
傍 聴 者 の 数	0 名	
審 議 内 容	<p>◆学び支援課長 挨拶及び欠席者と会議の成立について報告を行う。 委員長に議事の取り回しを依頼する。 以降は委員長が議事を取り回す。</p> <p>◇委員長 次第に従い議事を進める。議題 1 「2025 年度東浦町子ども読書活動推 進計画 (第 4 次) に係る実績書について」を議題として、事務局からの説 明を求める。</p> <p>◆事務局 資料 1 に基づき、各関連機関からの実績書内容について説明する。保育 園・子育て支援センター、児童館、健康課、学び支援課、中央図書館、学 校の 順番に報告を行う。児童館分の説明については、畔上委員へ報告を 求める。</p> <p>◆事務局 資料 1 に基づき、保育園・子育て支援センターの実績報告を行う。</p> <p>◇委員 資料 1 に基づき、児童館の実績報告を行う。</p>	

◆事務局

資料1に基づき、健康課、学び支援課、中央図書館、小中学校の実績報告を行う。

◇委員長

事務局及び関連機関の報告を受けて、委員の質疑を募る。

【質疑なし】

◇委員長

議題1に関する質疑応答を締め切り、議題2「2025年度子ども読書に関するアンケート結果について」を議題として事務局へ説明を求める。

◆事務局

資料2-1、2-2に基づき、小学校3・4年生を対象として2025年11～12月に実施したアンケート結果について説明を行う。

◇委員長

事務局からの説明を受けて、委員の質疑及び意見を募る。

◇委員

資料2-1の1ページ(4)問2について、4年生の「大好き、好き」の回答率が44%となっており、一見数値が低いように思うが、回答者の設問文の解釈によって、数値が変わってくるように思う。小学4年生は、発達段階に伴い読書の内容や目的が大きく変わる時期にあたる。自分の好きな本のジャンルが別れ始めるため、自分の興味のある本を自分自身で楽しみたいという子どもも増えてくる。そのため、今回の結果の数値については、マイナスに捉えず、ポジティブに捉えてもよいのではないかと。

◆事務局

承知した。

◇委員

資料2-1の2ページ問5について、朝の読書タイムの位置づけを確認したい。現在、全国的な傾向として、学校によっては、朝の読書タイムを国語の授業時間としてカウントする場合もある。今回のアンケートでは、当設問に対して「朝の読書タイム」を「学校の授業」とみなして回答しているのか。学校によって扱いは異なると思うが、学校関係の委員の方にお聞きしたい。

◇委員

自分も町内の全ての学校の状況を把握しているわけではないため、一概に自分の回答が東浦町全体の回答とは限らないが、自分の勤める学校では、朝の読書タイムは国語の授業時間としてカウントしていない。おそらく、回答した児童は、当設問の「授業以外の時間」は単純に「放課時間」

として捉えていると考えられる。仮に「朝の読書タイム」を学校の授業以外の時間と捉えて回答していたら、回答の率としては「よくしている」の回答がもっと高くなるはずである。

◇委員長

町内7小学校のうち、「朝の読書タイム」を授業の帯時間として位置づけている学校は、1校のみであると記憶している。

◇委員

資料2-1の2、3ページ問6と問8について、質問する。問6の設問では「1日の読書時間」を聞いていて、問8の設問では「1日の電子図書館の読書時間」を聞いている。例えば、2025年度の3年生について、問6の「1時間以上」「30分以上」との回答率が22%だが、22%のうち、問8の2025年度3年生の「1時間以上」「30分以上」の回答率10%が電子書籍を読んでいると考えればよいか。

◆事務局

問6の設問は、「家での1日の読書時間」を聞いており、問8の設問は「1日の電子図書館の読書時間」を聞いている。「家での読書」という場所の限定の有無という点から、問6と問8には、質問いただいたような互換性はない。

◇委員

資料2-1の2ページ問6について、「家での1日の読書時間」を「14分以下」と回答した率が、3、4年生ともに今年度は50%以上となっている。こちらの数値からは、読書時間が減少してきているという東浦町の課題が見えている。児童生徒が電子タブレットを持っており、電子タブレットの普及及び活用によって、読書率が減っているということも考えられるのではないか。電子タブレットだと、気軽にネット検索やゲーム等を楽しむことができる。一方で読書に親しむ時間が削られてしまっているのではないか。実際、東浦町の子どもたちは、学校から電子タブレットを自宅へ持ち帰ることができる状況なのか。学校関係の委員の方へお聞きしたい。

◇委員長

学校のタブレットの自宅への持ち帰りについては、学校によって扱いが異なっている。また、学校のタブレットでなくても、家庭の電子機器やスマートフォンを利用している子どももいるため、一概に学校の電子タブレットを自宅へ持ち帰ることによって、子どもたちの家での読書時間が減少しているとは結論づけられないと考える。

◇委員

他自治体の小学校では、連絡帳も電子タブレットで管理していて、紙に文字を書くという機会が減ってきている。同時に、紙に書かれた活字に触れる機会も減ってきてしまっている。また、学校から電子タブレットを自

宅に持ち帰ると、タブレットばかり触ってしまう子どもが多いため、保護者から学校の電子タブレットは自宅へ持ち帰らない運用にして欲しいという意見も出ている。電子タブレットばかりに頼るのは、子どもの成長や健康状態にとっても悪影響になるのではないか。

子ども読書活動の推進委員の立場からの視点で意見すると、小学3年生は、子どもの発達段階において、読解力、語彙、想像力、思考力等を育てる重要な時期であるため、読書に親しむ時間を増やしたいという思いがある。読書時間が減っているという点は、現在の東浦町の子どもたちの課題であると考えている。

◇委員長

子どもたちの読書時間が減少しているという点については、今後の課題として、子ども読書活動の推進に関する取り組みを深めていかなければならない。

◇委員

資料2-1の2ページ問6について、意見がある。現在、共働きの家庭が増えていて、学校が終わった後に、児童館で過ごす子どもも増えてきている。児童館で過ごす時間に読書をする子もいるため、設問の文書表現で結果も変わってくるように思う。学校終わりの習い事の待ち時間で読書をしている子もいるかもしれない。「家での1日の読書時間」という表現を「学校が終わった後の1日の読書時間」というような表現へ改めるとよいのではないか。

◆事務局

来年度のアンケートでは、設問の表現を改める。

◇委員

資料1の中央図書館の実績を見ていると、様々な図書館サービス事業を展開していて素晴らしいと思う。特に、図書館にティーンズコーナーを整備した点は、社会の動きに沿った取り組みであると感心している。

中学生の部活動の時間が縮小されてきているため、学校が終わった後の生徒たちを受け入れる場として有効活用されるのではないか。

また、小学生にとって、中央図書館まで自分で来るということは、距離の問題もあり困難である。その中で、図書館に来館しなくても読書ができる電子図書館の整備をしている点は、図書館運営で大変努力されていると感心する。

◇委員長

図書館の事業という点で、「ぬいぐるみのおとまり会」の実施内容や雰囲気についてお聞きしたい。

◆事務局

参加者の子どもたちが、自分のぬいぐるみと一緒におはなし会に参加し、その後ぬいぐるみのみを図書館に預けて、ぬいぐるみが一晩おとまり

するイベントである。もともとはアメリカの図書館から始まり、日本でも広まった事業である。ぬいぐるみを通じて、子どもたちの想像力を育み、読書に親しみをもってもらう目的がある。東浦町中央図書館では、図書館でぬいぐるみたちが図書館内を探検し、絵本の読み聞かせを聞いたり、図書館の仕事を体験したりする様子を写真に収め、フォトブックとして参加者へプレゼントしている。当事業をはじめとして、図書館では様々なイベントを開催しているが、普段図書館になじみがない人にとっても、図書館に来館するきっかけとなるよう心掛けている。

◇委員長

きっかけがイベントであると、普段図書館を利用しない方にとっても、図書館を利用しやすくなるため、引き続き魅力的なイベントを開催していただきたい。

◇委員

資料1の5ページの児童館における団体貸出制度の推進について、達成度がほぼ1と低い水準となっている。児童館では大型絵本を活用しないのか。

◇委員

児童館においても、大型絵本はよく活用している。ただし、中央図書館まで大型絵本を借りに来るとなると、児童館の位置によっては、来館しづらいという点や借りに来る時間が限られるという点がある。そのため、近隣の他の児童館で相互利用したり、児童館の図書購入費で大型絵本を購入したりしている。

◇委員長

資料1の4ページ①読み聞かせ事業の継続では、読み聞かせ活動に力を入れているとの報告があったため、必要に応じて大型絵本も利用していただければよいと思う。

◇委員長

議題2について質疑を締め切り、議題3「その他」について、事務局へ説明を求める。

◆事務局

議題3は特になしを報告する。

◇委員長

他の意見がないことを確認し、議事の終了を宣言する。

◆事務局

事務連絡として、1点の連絡を行う。

【連絡1】

	<p>委員の任期については、2027 年5月末までであることを報告。可能な方には引き続き来年度以降も委員を務めていただきたい旨を依頼。挨拶をして会議の終了を宣言する。</p>
--	---